

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2 20	<b>2:事業所と地域とのつきあい</b> <b>20:馴染みの人や場との関係継続の支援</b> 「私の暮らしシート」「私の生活史シート」が入居時に家族から提供された情報で完結しているため、日々の暮らしの中で職員が知り得た情報を追記したり、情報を活用できていない。	一人ひとりが馴染みの地域の中での暮らし続けていることが実感できる	①「私の暮らしシート」「私の生活史シート」の活用 ②近隣保育園、小学校との交流促進 ③市・町内会、地域行事への積極的参加	12ヶ月
2	36	<b>36:一人ひとりの尊重とプライバシーの確保</b> 接遇に関して法人をあげて取り組んでいるが、成果が支援の現場に反映されておらず、若い職員の言葉遣いや家族対応の不適切さが家族アンケートで指摘されている。	接遇の向上	①不適切用語の点検と排除 ②個人情報とプライバシーの理解 ③TPOに合わせた接遇勉強会 ④ご意見箱の活用	12ヶ月
3	66	<b>66:職員が生き活きと働いている</b> 家族アンケート結果において「わからない」との答えがあり、日々の中で職員の姿から生き活きと働いているように感じられていない様子がうかがえるため。	職員が生き活きと働いていることが実感できる	①退勤時に職員間で感謝の言葉伝える ②職員間で良い点優れている点改善してほしい点気になる点を言い合う ③前向きな言葉・笑顔のトレーニング	12ヶ月
4	35	<b>35:災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を職員が身につける必要がある。	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を職員が身につけることができる	①各種災害に備えたマニュアルの策定 ②マニュアルの実践訓練 ③災害に備えた備品等の準備	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。